

## 市民懇談会

1 日 時

令和 7 年 10 月 14 日（火）14 時～16 時 20 分

2 場 所

市民会館中ホール

3 出席者

（1）特別職

佐藤市長 及川教育長

（2）部長

大友総務部長、新妻政策部長 菅原健康福祉部長、古積市民経済部長、  
佐藤建設部長（併上下水道部長）、遠藤教育部長

（3）事務局

司会 安齋市長公室長  
市長公室職員

4 参加人数 24 名

5 懇 談

懇談の主な内容は、裏面のとおり

【意見１】 去年策定した岩沼市総合計画について、人口の目標に関しては現状で達成できそうな目標になっている。もう少しストレッチした目標を掲げて、目標を達成するためには根本的に考え方や発想を変えなくてはいけないという知恵が出てくると思うので、目標の掲げ方で何かが劇的に変わったりするのかなと思う。

【回答１：市長】 人口に関しては、自然増減と社会増減があり、自然増減の中で亡くなる方が多く、生まれる方が少なくなっているのが、自然増減が大幅減の状況です。そうすると社会増減で社会増を目指さないといけないのですが、すぐに皆さんに岩沼に引っ越してくださいと言っても、これまで社会増を目指す政策を打ってきていないので、大規模に開発できる土地がない状況です。あらかじめ岩沼は何年間でここを開発するという計画を、県に認めてもらってようやく開発に向けて動き出せるという状況で、今は開発する土地が全くない状況ですので、手堅い目標を立てさせていただきます。

【意見２】 このような市民懇談会について、もっと広い世代の人たちにも話を聞く機会を作っていただけたら、より市長の理解、共感が深まるんじゃないかなと思った。懇談会の開催予定について、例えば平日の夜とか土曜日とか、ぜひ開催の機会を増やしていただけないかなと思う。

【回答２：市長】 市民懇談会をもっと増やした方がいいという話ですが、私もそう思っています。昼だけじゃなくて夜もやったほうがいいですし、開催の仕方も様々な方法があると思いますので、発展を目指している他の自治体のいいところを取り入れながらこれからも続けていきたいと思っています。

【意見３】 体育センターの跡地について、民間の事業者に貸与するように先日議会で報告したようだが、これはどのような理由から貸与するように決定したのか。また貸与することで、市民にとってどのようなメリットがあるのか。

【回答３：市長】 詳細は担当がお答えしますが、市が全ての建物を作って維持していくというのは、もう時代に合わなくなってきました。市民全体のサービス向上や費用対効果を考えると、やはり民間に投資をしていただき、多くの市民の皆さんにこれが来て良かったと言っている施設を建てるのが良いと思っています。そのために住民説明会を開き、皆さんの意見をしっかりと伺った上で進めたいと考えていますが、やはり民間は、そこで需要があると思わないと取り入れてはくれない部分がありますし、事業を継続していかなければいけませんので、投資を回収できる見通しが立たないとなかなかそこに手をつけてくれません。そこは市民の皆さんにも認識していただきたいと思っています。

【政策部長】 民間事業者に貸し付ける理由とメリットについては、まず公有財産の有効活用というところです。体育センターは、令和５年度末で廃止等を行っていますが、その後の具体的な計画がありませんでしたので、市としては土地を遊ばせておかず有効に利活用するという方針で民間事業者への貸付を検討したところです。地域の活性化、市全体の生活利便性と魅力の向上を考えています。

【意見４】宅地開発について、都市計画が７年に１回行われると思うが、市長が就任した直後とかに提出期限だったと思うが、それはもう変更できないものなのか。

【回答４：政策部長】都市計画の線引きの見直しというのは大体５年から７年に１回決まった時期になっていて、市長が就任した際にはすでに第８次計画の見直しの案が出来ているという状況でしたので、そこからの変更については難しい状況でした。今後、人口増加を図っていくということを考えていますので、そこは次の第９次計画の見直しの際に、住宅地の造成ができるかどうかを県と相談していく予定です。県への提出は令和１１年ぐらいになるかと思います。

【意見５】市民バスがいつ見ても空で誰も乗っていないので無駄ではないか。

【回答５：市長】バスは福祉の側面もあると思っていますので、一律に全て廃止するというのは、適切ではないと思いますし、それは市民の思いとは違うと思います。中心部ではAI乗合バスという、アプリや電話で呼ぶとすぐ近くの乗降ポイントに指定の時間に来て、必要なところで降りることができる新たなシステムを使っています。また、中心部から離れたところはデマンドタクシーを導入して対応しています。市民バス以外にもそのような新しいテクノロジー、システムを組み合わせ、福祉である公共交通を維持していきたいと思っています。

【意見６】大都市に近い都市圏の市町村で、特定健診の高い受診率を上げている市町村で効果的な事業があれば参考にしてみたい。

【回答６：市長】他の自治体で特定健診の受診率を伸ばしている自治体があるので、今研究しているところです。今はどこからでも情報を取れる時代ですので、取れるところから取って、費用をかけなくてもやれるように工夫してやっていきたいと思っています。担当の職員が日ごろから勉強や研究をしなければならないと思いますので、改めて職員に指示を出して、そのようにさせたいと思っています。

【意見７】体育センター跡地の利活用について、建物の一部を緊急時に避難する場所、さらには地区民の集会所として利用できる場所であれば、南桜地区の我々にとって跡地の有効活用になるものと思っている。災害時の避難場所として、市ではどのように考えているのか。

【回答７：政策部長】貸付候補者として選定した事業者との話し合いの中で、跡地の一部にそのような場所を設けられないかというお願いをしているところです。

【意見 8】体育センター跡地のプロポーザルについて、災害時の協力とか地域活動などの住民との連携に対してどれだけ貢献できる提案になっているかが仕様にあったようだが、それに対して企業からはどんな提案があったのか。

【回答 8：政策部長】災害があった際はお店の商品などを避難所や地域の方に提供するような提案をいただいています。他には、子どもたちを職場体験で受け入れることができたり、子育てママ支援や、店舗を会場として地域の方向けのさまざまなイベントをやったりといった提案をいただいています。

【意見 9】体育館跡地のプロポーザルについて、何階建ての建物ができるような企画提案なのか。

【回答 9：政策部長】まだ建物の図面などの情報をいただいていませんので、そこについては不明です。

【意見 10】体育館跡地のプロポーザルについて、企業が儲けた収入があった分、貸元の市としてどの程度の収入が得られるのか。それは、土地の貸付料だけか。

【回答 10：政策部長】土地の貸付料のみになります。固定資産の土地の評価額×4%というところが基本的な貸付料になりますので、年間約 800 万円の想定です。

【意見 11】子育て世代のお母さんが室内で子どもたちを遊ばせるところがない。

【回答 11：市長】小学校区ごとに子育て支援センターを設置し、様々な取り組みをさせていただいています。悩みを聞くためのおむつ“あんしん”お届け隊という事業を始めましたし、来年度ハナトピア岩沼をリニューアルした「miiina」もそのような施設になるので、他の自治体と比べて充実していると思っています。

【意見 12】市民体育センターの跡地について、テニスコートの設置がいいと思う。岩沼の小学生は名取に行ってテニスをしている。

【回答 12：政策部長】事業者からは建物を建てたいという提案でしたので、その提案のとおり進められればと思っています。

【意見１３】 市民体育センターの跡地について、噂では、ドラッグストアとカフェと聞いているが、ドラッグストアはもう既に多数ある。市内で対抗させるようなことではいかがなものか。市内の薬局などは潰れる。そういった影響はないか。

【回答１３：市長】同業態が出た場合にマイナスに働く場合もありますけれども、競争が働いたり、あるいはカフェを例として挙げると、カフェの街としてさらに他の町からお客さんが来たりとか、そういったことで過度な競争にならないと思います。他のカフェの方たちが起業したとしても、みんなで一緒に盛り上がって客数を増やしていくのではないかと考えています。そういった意味では例えばドラッグストアやスーパーも、意外と近くにできてもそれほど影響はなく、それぞれがサービスで勝負をしていくという話を聞いていますので、必ずしもマイナスの影響があるという一辺倒ではないと思います。

【意見１４】 市民体育センターの跡地について、村田町のように大きい道路を確保して道の駅のような施設であればみんな喜ぶはず。商業から林業、農業の従事者が出品できる。ハナトピアでも一部、長岡の農家が出品していたような形で拡大できると思う。

【回答１４：市長】体育センターの跡地については、事業者からは小売と飲食という提案をいただきましたので、その提案のとおり進められればと思っています。道の駅については、市民の皆さんからもそういった声はいただいていますので、岩沼で開けるように一生懸命頑張りたいと思います。